

第 2 回 事例検討会 実施要領

- 1 目的 丹後地域では京都府の委託を受けた丹後地域リハビリテーション支援センターを中心に、一人ひとりの状態に応じたりハビリテーションサービスが提供できる体制づくりを目的として事例検討会で学ぶ機会を設けている。
講演と事例を通じて障害を理解し、課題解決に向けて検討することにより、関係者の連携体制の推進と、関係職員の資質向上を図る。
 - 2 今回のねらい ①高齢・過疎地域での地域リハビリテーションの取り組みを知る
②地域リハビリテーションにおける多職種連携について考える
 - 3 主催 丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院内 電話 0772-62-8301)
 - 4 共催 丹後地域リハビリテーションセラピスト連絡会
 - 5 日時 平成 25 年 11 月 10 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時 (受付：午前 9 時 30 分～)
 - 6 場所 公益財団法人丹後中央病院 ふたばホール
(京都府京丹後市峰山町杉谷 158-1 電話：0772-62-0791)
 - 7 内容 講演とグループワーク
「生活期を支える地域ケアとリハビリテーション
～事例検討で考える、介護・看護・リハ 多職種連携～」
講師： 小林 修 氏
社会福祉法人 よこた福社会
デイサービスにこここ 係長 理学療法士
- 講師紹介
社会福祉法人よこた福社会 デイサービスにこここ 係長
理学療法士
主な活動：
・島根生活支援リハビリテーション・ケア研究会代表
・隔月刊誌「訪問リハビリテーション」編集委員
主な著書：【地域理学療法にこだわる】(文光堂)


- 8 対象者 地域リハビリテーション関係者
・医療機関及び介護保険事業所（居宅介護支援事業所）等
（医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護支援専門員等）
・障害者生活支援センター（相談員等）
・市町地域包括支援センター、市町介護予防事業従事者等
・市町及び保健所保健・福祉担当者等
 - 9 申込み方法 添付の申込み用紙に必要事項を記入の上 FAX にてお申込み下さい。
締め切り 平成 25 年 11 月 2 日 (土) 必着
 - 10 備考 開催当日の昼食は各自でご用意下さい。昼休憩中の会場内での飲食は可能です。